



明治大学校友会 千葉県西部支部

市川地域支部

第12回総会資料



平成28年5月15日(日)

於：山崎製パン企業年金基金会館大ホール(陽光の間)

明治大学校友会 千葉県西部支部

市川地域支部

第12回総会・懇親会次第

第1部 総会		(11:00~11:45)	司会	木川幹事
1 開会のことば				湯浅幹事
2 支部長挨拶				佐川支部長
3 ご来賓紹介				司会
4 議長選出				佐川支部長
5 議事録署名人選出				阿部副幹事長、登坂幹事
6 議事	第1号議案	平成27年度 事業報告		井上幹事長
	第2号議案	平成27年度 収支決算報告		高橋副幹事長
		平成27年度 監査報告		阿部監査委員
	第3号議案	平成28年度 事業計画(案)		井上幹事長
	第4号議案	平成28年度 収支予算(案)		高橋副幹事長
	第5号議案	役員改選の件		佐川支部長
7 報告事項				佐川支部長
8 閉会のことば				阿部副幹事長

(15分休憩)

第2部 懇親会		(12:00~14:30)	司会	板橋幹事
1 開会のことば				伊与久幹事
2 来賓挨拶			西部支部支部長	行木 勝雄 様
3 乾杯				山田顧問
4 新入会員紹介				司会
5 歓談				
6 アトラクション	染谷 始さん	トランペット演奏		
7 記念写真				明村幹事
8 校歌斉唱			指揮	阿部監査委員、伊与久幹事
9 閉会のことば				登坂幹事

第1号議案

平成27年度 事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 大学本部関係

- 平成27年 7月25日(土) 支部長・地域支部長・本部員懇談会
(アカデミーコモン)
- 7月26日(日) 定例代議員総会 (リバティホール)
- 9月5日(土) 全国校友滋賀大会・支部長・地域支部長・本部員懇談会
(滋賀プリンスホテル)
- 9月6日(日) 全国校友滋賀大会(6名参加)
(滋賀プリンスホテル)
- 10月18日(日) ホームカミングデー協力 『市川の梨』寄贈
- 平成28年 3月21日(月) 平成28年卒業生歓迎懇談会 (アカデミーコモン)

2. 西部支部関係

- 平成27年 4月19日(日) 西部支部役員会 (紫紺館)
- 4月26日(日) 我孫子地域支部総会 (けやきプラザ)
- 5月10日(日) 柏地域支部総会 (ナプシャルズ南柏)
- 5月23日(土) 浦安地域支部総会 (浦安ブライトンホテル)
- 5月24日(日) 流山地域支部総会 (せきや)
- 5月31日(日) 船橋地域支部総会 (船橋グランドホテル)
- 6月21日(日) 西部支部総会 (柏の葉カンファレンスセンター)
- 8月23日(日) 西部支部役員会 (紫紺館)
- 9月23日(水) 柏・我孫子・流山支部共催マンドリン演奏会
(柏市民文化会館)
- 10月25日(日) 西部支部役員会 (紫紺館)
- 11月13日(金) 千葉県東西支部親睦ゴルフコンペ (総成カントリー)
- 11月15日(日) 松戸地域支部総会 (聖徳大学10号館)
- 平成28年 1月31日(日) 西部支部役員会新年会 (浦安ブライトンホテル)
- 2月6日(土) 東部支部新年会 (ホテルグリーンタワー幕張)
- 2月28日(日) 西部支部役員会 (紫紺館)
- 3月13日(日) 西部支部役員会 (紫紺館)

3. 市川地域支部関係

- ・ 平成27年 4月28日(火) 三役会(市民談話室)
- ・ 5月9日(土) 役員会(市民談話室)
- ・ 5月17日(日) 第11回総会(山崎製パン企業年金基金会館)
- ・ 6月13日(土) 役員会(市民談話室)
- ・ 8月10日(月) 役員会(市民談話室)
- ・ 10月17日(土) 役員会(市民談話室)
- ・ 12月16日(水) 役員会、役員忘年会(ヤマザキ地下市川くらぶ)
- ・ 平成28年 2月7日(日) 新年会(うえだ別館)
- ・ 3月19日(土) 役員会(市民談話室)

4. 同好会関係

- ・ ゴルフ同好会 6/5、9/11、12/10 … 3回開催
- ・ カラオケ同好会 6/7、9/27、12/6、3/6 … 4回開催
- ・ ハイキング同好会 9/26 キャンパスツアー開催
- ・ ボウリング同好会 8/29 ボウリング大会&暑気払い開催

※上記同好会活動の詳細につきましては、会報『まつかぜ』及び支部のホームページをご覧ください。

5. 地域貢献活動関係

- ・ 平成27年11月7日(土) 第40回市川市民まつり参加(大洲防災公園)
明大スポーツ新聞の配布や明大グッズ販売等により母校のPRに努めた。
- ・ 地域ボランティア活動
役員有志によるオレンジキャップ防犯パトロール、防犯講演会参加

平成27年度収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【収入の部】

科目	予算	決算	差額	備考
I 地域支部会費収入	966,000	942,000	-24,000	
1.年会費	510,000	510,000	0	3千円×170人
2.総会会費	456,000	432,000	-24,000	
II 事業収入	10,000	526,870	516,870	新年会会費426,000円含
III 寄付金収入	80,000	84,000	4,000	
IV 受取利息	100	93	-7	
V 雑収入	5,000	8,666	3,666	
収入合計	1,061,100	1,561,629	500,529	
繰越金	505,614	505,614	0	
合計	1,566,714	2,067,243	500,529	

【支出の部】

科目	予算	決算	差額	備考
I 事業費	230,000	826,523	596,523	
1.地域支部交流費	80,000	110,000	30,000	
2.その他事業費	150,000	716,523	566,523	新年会費用等
II 広報費	140,000	98,023	-41,977	
1.地域支部会報発行費	120,000	74,023	-45,977	まつかぜ発行費等
2.広報関係費	20,000	24,000	4,000	ホームページ維持費等
III 運営費	643,000	689,682	46,682	
1.会議費	583,000	573,919	-9,081	
(1)支部総会費	550,000	571,259	21,259	
(2)役員会費	3,000	2,660	-340	
(3)委員会費	10,000	0	-10,000	
(4)業務費	20,000	0	-20,000	
2.事務費	50,000	85,763	35,763	
3.慶弔費	10,000	30,000	20,000	
IV 予備費	48,100	10,000	-38,100	
支出合計	1,061,100	1,624,228	563,128	
次年度繰越額	505,614	443,015	-62,599	
合計	1,566,714	2,067,243	500,529	

監査報告書

明治大学校友会市川地域支部会則第 19 条 1 項の定めに従い、平成 27 年度の収支計算書につき、現金出納帳、証憑書類その他これらに関連する帳簿等を監査しました。

また、会務の執行については役員会に出席して状況を把握するとともに、事業報告については担当役員から説明を求め、監査を実施しました。

監査の結果、収支計算書は平成 27 年度における収支の状況を適正に表示しており、会務は会則に準拠し適切妥当に執行されたものであることを認めます。

平成 28 年 4 月 15 日

明治大学校友会市川地域支部

監査委員

阿部 晃



監査委員

大越 信夫



第3号議案

平成28年度 事業計画（案）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

1. 第12回市川地域支部総会・懇親会の開催（山崎製パン企業年金基金会館）
 - ・ 平成28年5月15日（日） 11:00～総会 12:00～懇親会
2. 役員会の開催
 - ・ 定例会は3ヶ月に1回、年4回開催予定（必要時には別途開催）
3. 会員の親睦、交流の推進
 - ・ 市川地域支部会報「まつかぜ」の発行
 - ・ 会員相互の交流の場として、趣味・スポーツ等のサークル活動の充実と支部からの補助
 - ・ 新年会の開催 平成29年2月5日（日）予定
 - ・ ゴルフ同好会 年4回のコンペ開催と新年会
 - ・ カラオケ同好会 年4回の例会開催と忘年会
 - ・ ハイキング同好会 本年度は6大学野球応援・観戦ツアーを予定
 - ・ ボウリング大会&暑気払い 8月に予定
4. 重点事業
 - ・ 会員増強活動：各会員があらゆる情報を駆使して、地域の校友を支部の仲間として迎え入れる努力をしていきましょう。
超高齢社会は「顔の見えるお付き合い」が大切です。
 - ・ 校友会全国大会・千葉大会（平成31年開催）への準備体制の整備
5. 大学関係への協力
 - ・ 校友会全国大会・鳥取大会への参加協力
 - ・ 大学協力資金等の募金活動への協力
 - ・ 大学賛助となるための必要事業への協力
 - ・ 明大ホームカミングデーへの参加協力
 - ・ 千葉県西部支部各地域支部および東部支部の行事への積極的な参加
6. 市川市、地元への協力
 - ・ 市民まつり参加予定
 - ・ 地域貢献ボランティア活動（防犯パトロール等）

第4号議案

平成28年度収支予算(案)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【収入の部】

科 目	予 算	備 考
I 地域支部会費収入	966,000	
1.年会費(3千円×170人)	510,000	
2.総会会費(6千円×76人)	456,000	
II 事業収入	530,000	新年会会費、明大グッズ販売売上等
III 寄付金収入	90,000	
IV 受取利息	100	
V 雑収入	5,000	
収入合計	1,591,100	
繰越金	443,015	
合計	2,034,115	

【支出の部】

科 目	予 算	備 考
I 事業費	800,000	
1.地域支部交流費	100,000	他支部総会祝い金等
2.その他事業費	700,000	新年会、同好会補助、全国大会参加費補助等
II 広報費	104,000	
1.地域支部会報発行費	80,000	まつかぜ発行費等
2.広報関係費	24,000	ホームページ維持費等
III 運営費	675,000	
1.会議費	585,000	
(1)支部総会費	570,000	
(2)役員会費	5,000	
(3)委員会費	5,000	
(4)業務費	5,000	会議開催に伴う連絡通信費等
2.事務費	60,000	
3.慶弔費	30,000	
IV 予備費	12,100	
支出合計	1,591,100	
次年度繰越額	443,015	
合計	2,034,115	

市川地域支部役員名簿(案)

役職	氏名	卒年	学部
顧問	山田 憲典	S35	法
名誉支部長	行木 勝雄	S35	法
相談役	伊神 玲子	S27	商
相談役	小菅 公	S30	政経
相談役	及川 慶治	S30	政経
支部長	佐川 清	S33	経営
副支部長	月舘 光治	S32	法
副支部長	高梨 政夫	S40	商
副支部長	伊与久 美子	S42	文
幹事長	井上 喜久男	S42	経営
副幹事長	高橋 一郎	S52	工
副幹事長	阿部 千尋	S56	法
幹事	平野 博	S37	商
幹事	芹川 恵一	S37	商
幹事	伊与久 剛史	S42	文
幹事	米倉 廣幸	S44	法
幹事	登坂 一郎	S45	政経
幹事	中原 忠良	S46	経営
幹事	明村 澄雄	S47	政経
幹事	板橋 昇二郎	S48	法
幹事	湯浅 起市郎	S49	工
幹事	笠原 智	S52	農
幹事	滝口 利子	S55	商
幹事	時田 徹	S56	工
幹事	加藤 洋一	S61	政経
幹事	武士田 卓志	S62	法
幹事	清水 裕子	S63	文
幹事	富川 雅晴	H4	商
幹事	青木 輝美	H6	短法
幹事	山室 繁央	H7	政経
幹事	上田 栄一郎	H8	農
幹事	金子 明	H8	商
幹事	石川 隆英	H20	法
会計幹事	木川 正博	S63	政経
会計幹事	大坪 恭也	H11	商
監査委員	阿部 晃	S34	経営
監査委員	大越 信夫	S45	政経

明治大学校友会 市川地域支部会員名簿

- ・この名簿は校友会活動の目的以外に使用することはありません。
- ・住所等の削除を希望する方はお申し出下さい。
- ・取り扱いには最大のご配慮をお願い致します。

No.	氏名	卒年	学部
1	川辺 正二	S22	商
2	新村 貞男	S23	政経
3	中村 櫂	S25	文
4	伊神 玲子	S27	商
5	吉澤 和子	S27	法
6	伊東 直三	S28	法
7	大石 和男	S28	商
8	鈴木 準二	S28	商
9	佐藤 要太郎	S29	商
10	飯山 今朝登	S30	工
11	及川 慶治	S30	政経
12	川島 毅	S30	法
13	小菅 公	S30	政経
14	地引 一則	S30	工
15	広瀬 一栄	S30	商
16	石毛 敬祐	S31	商
17	瀧澤 幹男	S31	経営
18	萩原 守夫	S31	商
19	山崎 善二郎	S31	法
20	小川 正明	S32	工
21	千葉 昭司	S32	政経
22	月舘 光治	S32	法
23	鶴岡 正雄	S32	商
24	宮本 武勲	S32	政経
25	石橋 正光	S33	商
26	齋藤 英夫	S33	経営
27	佐川 清	S33	経営
28	砂山 保郎	S33	商
29	田中 薫	S33	法
30	千葉 良二	S33	商
31	露木 利次	S33	商
32	阿部 晃	S34	経営
33	飯高 薫	S34	商
34	鈴木 宣男	S34	政経

新

No.	氏名	卒年	学部
35	植松 久子	S35	法
36	宇賀山 昇	S35	商
37	澤村 義治	S35	商
38	鈴木 保俊	S35	商
39	関口 祐司	S35	商
40	行木 勝雄	S35	法
41	宮崎 宏	S35	商
42	山田 憲典	S35	法
43	印南 博之	S36	政経
44	田中 一彦	S36	商
45	村松 榮	S36	政経
46	山川 藤夫	S36	工
47	山崎 敬生	S36	商
48	上田 府正	S37	工
49	久保 一郎	S37	政経
50	芹川 恵一	S37	商
51	中村 精三	S37	政経
52	原 伸次	S37	経営
53	平野 博	S37	商
54	保坂 孝	S37	経営
55	星野 隆	S37	政経
56	石川 定義	S38	工
57	小田 隆造	S38	商
58	鳥飼 好男	S38	商
59	中村 欣治	S38	政経
60	安西 洵	S39	文
61	石毛 裕耕	S39	文
62	井内 幸雄	S39	政経
63	川島 重雄	S39	政経
64	神田 久	S39	商
65	石川 守也	S40	法
66	鈴木 吉則	S40	法
67	関 勝治	S40	政経
68	高梨 政夫	S40	商
69	塚本 紘治	S40	商
70	大西 勇	S41	政経
71	菰田 育宏	S41	政経
72	齋藤 信義	S41	工
73	須賀 明	S41	政経

新

新

No.	氏名	卒年	学部
74	染谷 武俊	S41	商
75	米山 功	S41	法
76	井上 喜久男	S42	経営
77	伊与久 剛史	S42	文
78	伊与久 美子	S42	文
79	河野 忠晴	S42	農
80	小林 操	S42	文
81	富田 繁太郎	S42	商
82	橋詰 一彦	S42	政経
83	茂呂 三男	S42	法
84	内田 正彦	S43	文
85	増田 文明	S43	商
86	中村 晃夫	S44	商
87	橋本 剛	S44	政経
88	米倉 廣幸	S44	法
89	渡邊 勉	S44	法
90	大越 信夫	S45	政経
91	大原 登志	S45	商
92	高橋 仁彦	S45	法
93	登坂 一朗	S45	政経
94	吉田 育生	S45	法
95	宇田川 純一	S46	農
96	桑原 信	S46	政経
97	中原 忠良	S46	経営
98	長谷川 純一	S46	商
99	本間 雄司	S46	工
100	明村 澄雄	S47	政経
101	進藤 周一	S47	経営
102	板橋 昇二郎	S48	法
103	内田 典子	S48	文
104	坂巻 幸夫	S48	法
105	里村 清隆	S48	商
106	戸田 正人	S48	工
107	土橋 敏雄	S48	経営
108	湯浅 起市郎	S49	工
109	尾形 友康	S50	文
110	戸邊 寛	S50	法
111	柳田 好明	S50	政経
112	入江 誠一	S51	経営

新

No.	氏名	卒年	学部
113	高橋 晋	S51	商
114	渡辺 博道	S51	大学院
115	笠原 智	S52	農
116	小林 裕司	S52	商
117	高橋 一郎	S52	工
118	二見 昭	S52	経営
119	吉田 健	S53	経営
120	伊藤 祐介	S55	法
121	滝口 利子	S55	商
122	野口 克子	S55	法
123	阿部 千尋	S56	法
124	池本 克己	S56	政経
125	園田 潔	S56	工
126	時田 徹	S56	工
127	轟 正昭	S56	法
128	中田 聡子	S56	政経
129	吉野 芳明	S56	法
130	長森 稔明	S57	法
131	市川 真純	S59	経営
132	岡田 宇	S59	政経
133	川村 日出樹	S59	政経
134	菊池 武	S59	政経
135	川島 康男	S60	商
136	江戸 正人	S61	法
137	加藤 洋一	S61	政経
138	河合 憲二	S61	商
139	赤坂 幸彦	S62	文
140	武士田 卓志	S62	法
141	新井 宏幸	S63	経営
142	木川 正博	S63	政経
143	清水 裕子	S63	文
144	杉沢 秀一	H1	工
145	大陽 照弘	H1	政経
146	細田 伸一	H1	法
147	神田 琴絵	H2	工
148	櫛方 隆志	H4	法
149	富川 雅晴	H4	商
150	熱田 雅彦	H6	法
151	青木 輝美	H6	短法

No.	氏名	卒年	学部
152	山室 繁央	H7	政経
153	上田 栄一郎	H8	農
154	金子 明	H8	商
155	松丸 陽輔	H9	文
156	中田 信也	H10	政経
157	松永 鉄平	H10	商
158	安田 智信	H10	政経
159	大坪 恭也	H11	商
160	高橋 大輔	H11	法
161	武田 隆志	H12	政経
162	通川 結実	H14	短法
163	丸山 智史	H16	法
164	城和 宗一郎	H17	商
165	川村 祐依	H19	政経
166	藤田 光太郎	H19	政経
167	石川 隆英	H20	法
168	田中 幸太郎	H22	大学院
169	栗林 真未	H22	法
170	森川 沙帆	H24	法
171	土屋 正順	H27	法

新

心を熱き!! 謳

明治大学校歌・應援歌集

—明治大学應援團—

明治大学校歌

児玉花外 作詩
山田耕 作曲

一、白雲なびく駿河台

眉秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘

文化の潮みちびきて

遂げし維新の栄になふ

明治その名ぞ吾等が母校

明治その名ぞ吾等が母校

二、権利自由の揺籃の

歴史は古く今もなほ

強き光に輝けり

独立自治の旗翳し

高き理想の道を行く

我等が健児の意気をば知るや

我等が健児の意気をば知るや

三、靈峰不二を仰ぎつつ

刻苦研鑽他念なき

我等に燃ゆる希望あり

いでや東亜の一角に

時代の夢を破るべく

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

正義の鐘を打ちて鳴らさむ

明治大学校歌

「白雲なびく駿河台……」の名文句、

名調子による我が明治大学の校歌は、

日本三大校歌の一つにかぞえられ、全

国津々浦々に知れ渡っている。又、校

歌物語を引用すると……。

一九二十年の春、当時まだ学生であ

った武田 猛氏（元明治大学総長）と

級友 牛尾哲造氏 とが中心となって、

校歌を作成することになった。そして、

作詞を詩人 児玉花外先生 に、作曲は

当時楽壇のホープとして注目されてい

た、山田耕作先生 に依頼することと

なり、この年の秋、隅田川の大学対抗

ポートルレースで初めて全学生の校歌と

して発表された。等、等、

そのエピソードは波乱に満ち、維新

以来先哲のあるいた幾多の伝統の重み

が格調高かつたわってくる。

神宮球場で勝利の瞬間に聞く校歌は、

明大生である喜びを誇るかの如く力強

く鳴り響くのである。



発行：明治大学校友会 千葉県西部支部 市川地域支部